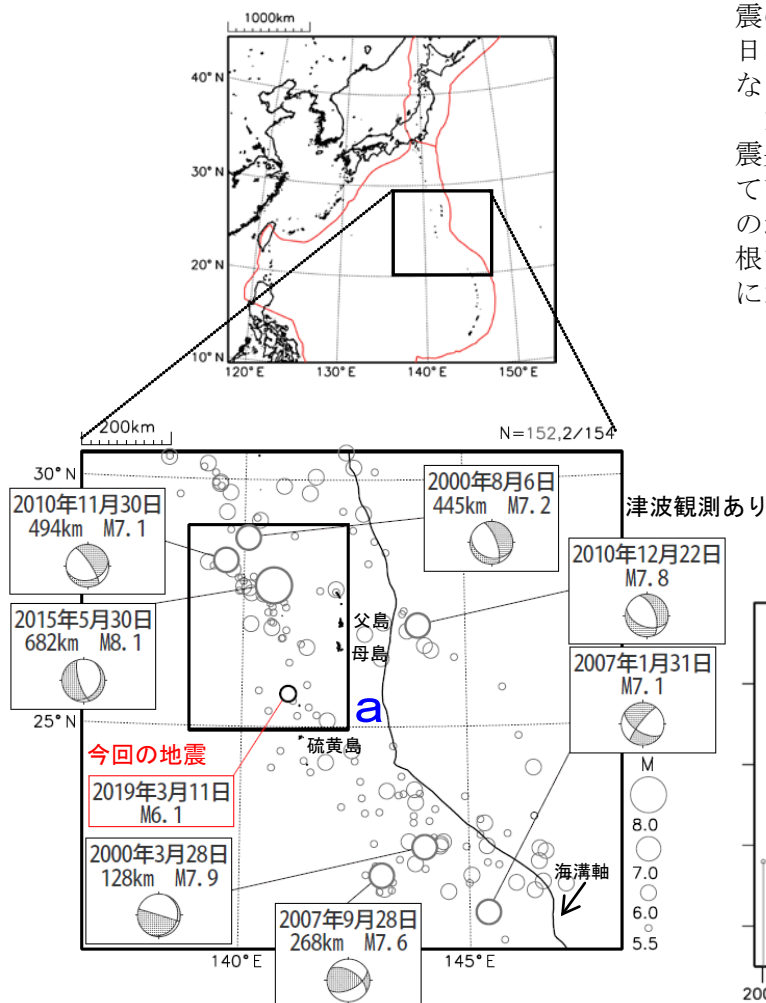


3月11日 硫黄島近海の地震

震央分布図
(2000年1月1日～2019年3月31日、
深さ0～700km、 $M \geq 5.5$)
2019年3月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

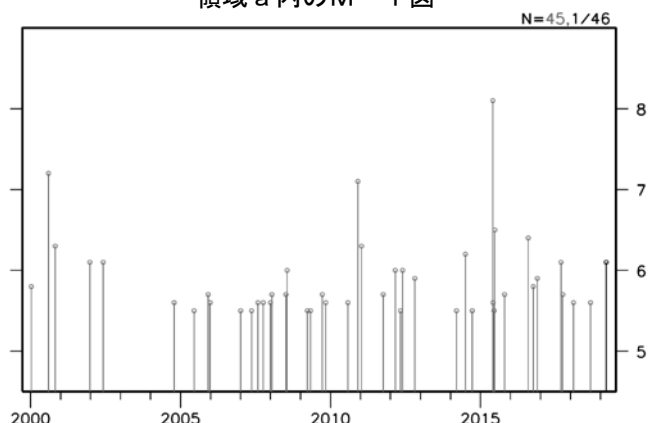


2019年3月11日18時33分に硫黄島近海でM6.1の浅い地震（震度1以上を観測した地点なし）が発生した。

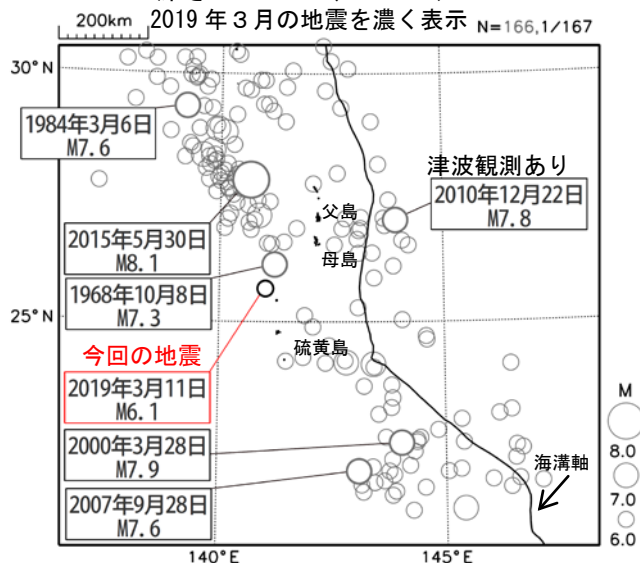
2000年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、2015年5月30日にM8.1の地震（最大震度5強）が発生するなど、M7.0を超える地震が3回発生している。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、M7.0以上の地震が時々発生している。2010年12月22日には父島近海でM7.8の地震（最大震度4）が発生し、八丈島八重根で0.5mの津波など、東北地方から沖縄地方にかけて津波を観測した。

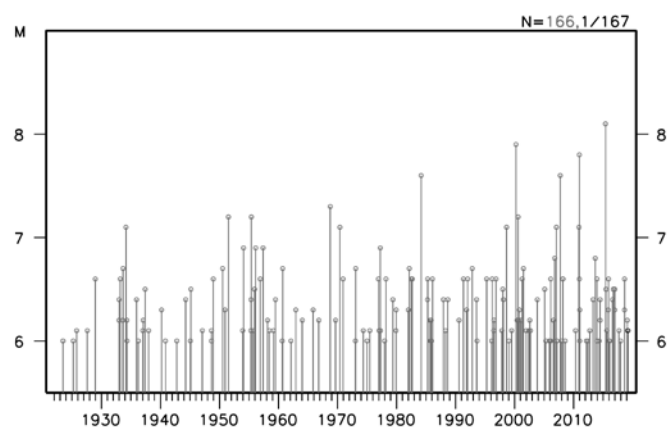
領域a内のM-T図



震央分布図
(1922年1月1日～2019年3月31日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)
2019年3月の地震を濃く表示 N=166,1/167



左図の領域内のM-T図



※本資料中のプレート境界の位置はBird (2003) *より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.